



松ヶ崎だより

京都市左京区松ヶ崎堀町40
TEL.075(781)3380/FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

家

第2回
学校評価特集号

令和3年3月19日
京都市立松ヶ崎小学校
校長 土井 則夫



子どもを共に育む
京都市民憲章

京都はぐくみ憲章
社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

学校評価を次につなげる

第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした振り返りについてダイジェストでお伝えします。

<アンケート調査の概要>

対象	調査期間	対象数	集計数
保護者	11月25日（水）～12月2日（水）	320名	297名 (92.8%)
子ども	11月30日（月）～12月4日（金）	320名	317名 (99.1%)

<アンケート結果をもとにした振り返りの流れについて>

第2回のアンケート結果をもとに、2学期の取組について教職員による振り返りを行いました。振り返りでは、①「確かな学力」の育成、②「豊かな心」の育成、③「健やかな体」の育成の3つについて、アンケートの結果から見えてきた成果と課題を出し合い、今後に向けての提案を考えるという手順で行いました。

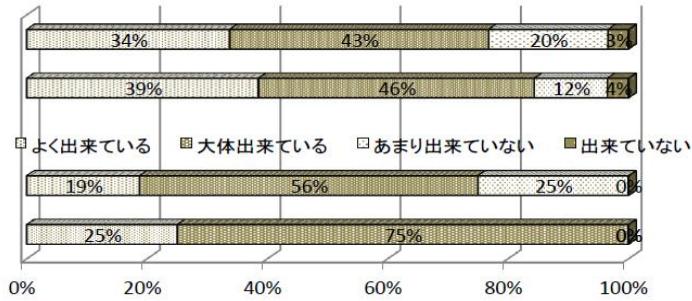
<ダイジェスト版の見方>

2学期に重点的に取り組んだ内容について、アンケート結果と振り返りを示しています。紙幅の都合で掲載できなかったアンケートの結果についても、ホームページ上に公表する予定です。

(R1…令和元年度後期の結果、R2…第2回の結果、保…保護者、子…子ども、教…教職員 を表しています)

ルールの定着・学び合いの基盤となる学習規律

子	チャイムで がくしゅうが はじめられるように、じゅんびをして まついる。	R1
		R2

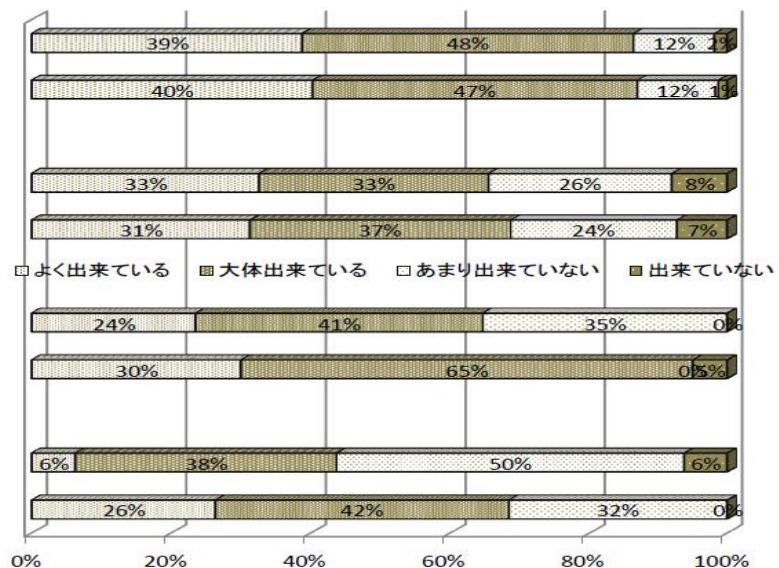


教	学習規律について、学校全体で指導する。	R1
		R2

- <よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>
- コロナ禍の中、子どもたちが少しでも安心して学校生活を送れるように、規律のある学習の指導を続けることができた。
 - 授業時間が40分になったことで、時間の使い方と教材の工夫をすることができた。
 - 「自分がやる」という意識、ルールを守る主体者であるという気持ちが子ども達に十分育っていない。
 - 少しづつ、発達段階に応じた学習を積み上げていき、学年のつながりを意識して力をつけられるようにする。
 - 教師も子どもも時間を守る。

子ども同士の発言がつながる授業

子	話を聞く時は、相手を見て、最後まで静かに聞いている。	R 1	39%	48%	12%	1%
子	発表するときは、友達の発表につけて足したり、つなげたりしている。	R 1	40%	47%	12%	1%
教	目を見て聞く、うなずいたりあいづちを打ったりして聞くという指導を徹底する。	R 1	33%	33%	26%	8%
教	目を見て聞く、うなずいたりあいづちを打ったりして聞くという指導を徹底する。	R 2	31%	37%	24%	7%
教	共に学び合うことのよさを子どもが実感できるように、子どもと子どもの発言をつなぐ。	R 1	24%	41%	35%	0%
教	共に学び合うことのよさを子どもが実感できるように、子どもと子どもの発言をつなぐ。	R 2	30%	65%	0%	5%

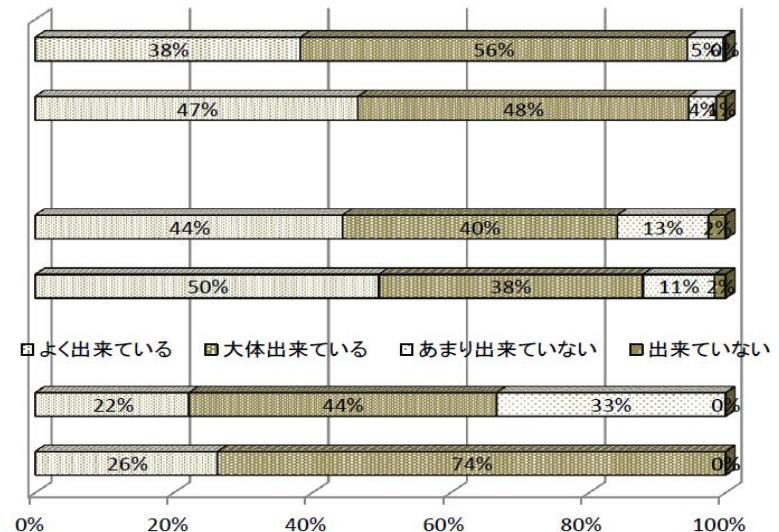


<よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>

- グループ学習など、友達との主体的なかかわりを楽しむ学習ができた。
- 本年度からの新しい教科書にそって、対話的な学びが実践しやすくなった。
- 発表がつながるという意識を教師が十分にイメージしきれていない。
- 「同じです」「どうしてですか」「ちょっとちがって」などのつなげ方の具体的な言葉を掲示しておき指導していく。

子どもの行動への価値づけ

保	学校は、子どものよいところやがんばっているところをわかってくれている。	R 1	38%	56%	5%	1%
子	先生は、私のよいところやがんばっているところを、ほめてくれる。	R 1	47%	48%	4%	1%
子	先生は、私のよいところやがんばっているところを、ほめてくれる。	R 2	44%	40%	13%	3%
教	子どもの行動をほめるだけでなく、価値を伝える。	R 1	50%	38%	11%	1%
教	子どもの行動をほめるだけでなく、価値を伝える。	R 2	22%	44%	33%	0%

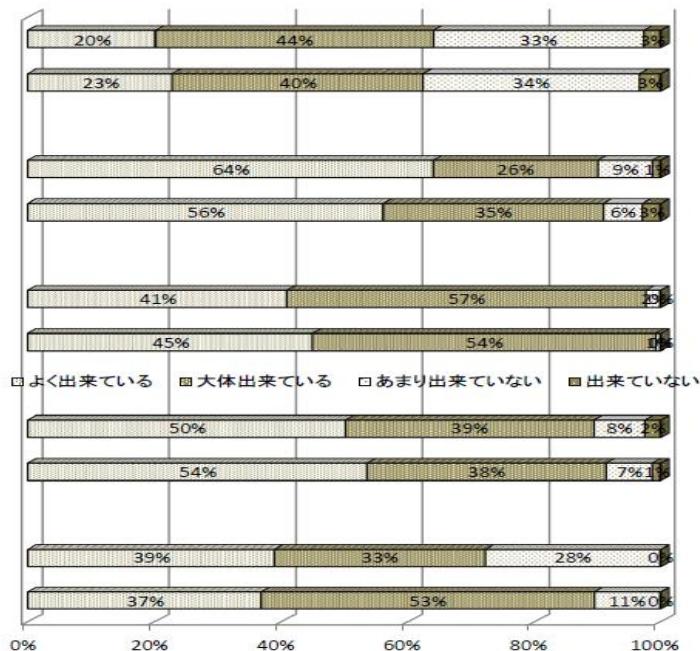


<よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>

- 学校生活の中で、友達との関わりを楽しむ子ども達の姿が見られた。
- 友達、人を大切にしている姿が見られた。
- ほめるだけでなく、行動の価値を伝えていく。
- 子どもをほめるコメントを、見える形（ノート・掲示・学級通信）に残していく、積極的に周りに発信をしていく。

はきもの・あいさつ

保	はきものを揃える習慣が子どもに身につくように、取り組んでいる。	R 1	20%	44%	33%	10%
		R 2	23%	40%	34%	13%
子	はきもの(くつ、トイレのスリッパ)をそろえている。	R 1	64%	26%	9%	1%
		R 2	56%	35%	6%	3%
保	子どもの手本となるように、親は自分から進んであいさつをしている。	R 1	41%	57%	1%	
		R 2	45%	54%	1%	
子	誰に対しても、自分から進んであいさつをしている。	R 1	50%	39%	8%	2%
		R 2	54%	38%	7%	1%
教	「あいさつ」と「はきもの」にこだわって指導し続ける。	R 1	39%	33%	28%	0%
		R 2	37%	53%	11%	0%



<よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>

○ 靴箱はきれいに靴がそろうようになってきた。昨年度からの積み重ねが実を結んでいる。

○ あいさつできる子が増えてきた。委員会での朝のあいさつ運動の効果が出ている。

● トイレのスリッパがそろっていないことがある。

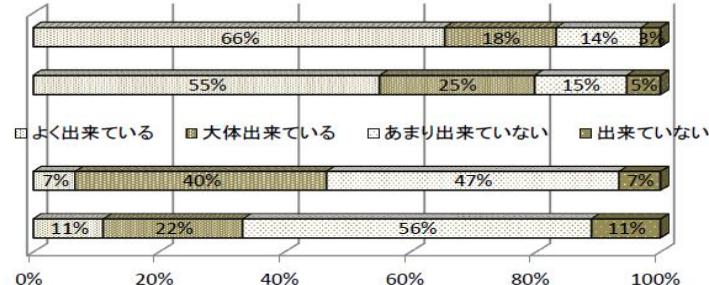
● 朝の校門前だけでしかあいさつしない子がいる。

□ 継続することで、あいさつ、はきものの習慣を定着できるようにしていく。

□ 校門前でできたあいさつをほめて、意識を高められるようにする。

外遊び

子	外遊びなどで、進んで体を動かしている。	R 1	66%	18%	14%	3%
		R 2	55%	25%	15%	5%
教	いろいろな遊びを子どもに広める。	R 1	7%	40%	47%	7%
		R 2	11%	22%	56%	11%



<よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>

○ コロナ禍を通じて、友達と関わる喜びを学校での遊びを通じて感じることができた。

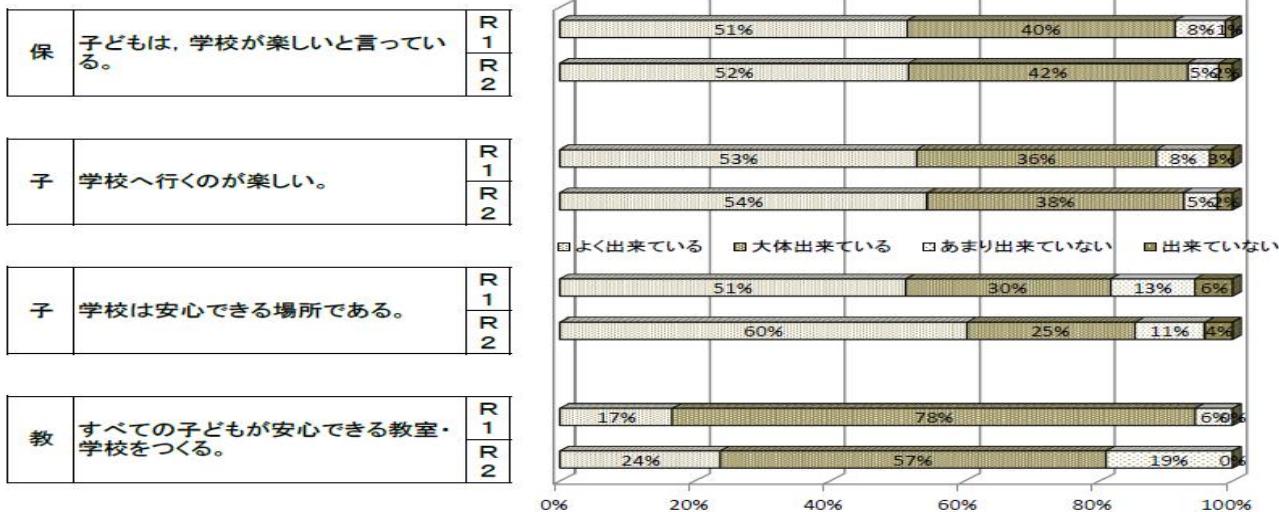
○ 手洗い、うがい、マスクは家庭の協力もあり、よくできていた。

● 休み時間に外に出られる学年を限定していたので、自由に遊べずストレスをためている子がいた。

● ソーシャルディスタンスを求められる中で、子どもたちが身体を使って関わり合うことのできる遊び、学習ができないことが多かった。

□ コロナ禍でインターネットなどに頼る生活が長かったので、情報ツールについて学ぶ機会を増やしていく、ルールやマナーについても指導していく。

楽しい学校・安心できる学校



＜よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）＞

○ コロナ禍を機会に、教職員が子どもへの関わり方をより丁寧に行ってきていたので、続けていきたい。

● 楽しい、安心できると感じられていない子どもたちもいる。

□ 学校においてみんなで学ぶことの意義を意識して、子どもたちと関わっていく。

自由記述から

ご多用の中、自由記述欄にもご意見をいただき、本当にありがとうございました。お答えできるものについては、個人懇談の場などでもお伝えしました。いただいたご意見も参考にして、今後の教育活動を進めてまいります。すべてを載せることはできませんが、いくつか、紹介します。

体育参観・学年学習発表会について

「WITHコロナの時代に何とか行事や発表会を差し込んでくださり、がんばっている子供の姿が見られて感謝しています。」「運動会や学習発表会などの行事を短時間でも行っていただき、うれしく思っています。授業の後の子ども達の感想などが良いなと思います。」「余裕のある空間でよく見ることができました。」「学校にうかがう機会が少ないですが、よくご配慮いただいた上の行事を行ってくださり大変ありがとうございます。」「短い時間ですが、子ども達が楽しそうに一生懸命に頑張っている姿を見ることができ、安心します。」と、本年度の取り組みについて意見をいただきました。

子どもたちの様子について

「楽しそうに登校しているので安心です。」「学校での出来事やお友達のことなど、家庭内でよく話してくれるようになり、ここ数か月で自主性もよく身についたと実感しております。」「ホームページに、学校の様子を写真付きでたくさん載せてくださるので、学校で何を学んでいるのか親も知ることができ、毎日見るのが樂しみです。先生は大変だと思いますが、とてもよい取組だと思います。」「コロナの影響で、保護者が学校へ足を運ぶ機会は減りましたが、子どもからの話を通して、6年生として自覚をもって日々を過ごしている事が伝わってきます。」学校での様子を、授業参観で見ていただく機会がほとんどなく、お家での子ども達の姿からご意見をいただきました。

授業について

「これからもし、緊急事態宣言時と同じように休校するなら、オンラインなどで学びを続けられるようにお願いします。」「週3日、7時間授業の日は疲れて帰ってくることが多いです。」

本年度の取組を次年度に生かせるよう、振り返りをしっかりとといこうと思います。

アンケートのご協力、たくさんのご意見、ありがとうございました。